

クレイペイントのクラック、アク・しみ対策処理

この資料は施工業者さまへの参考資料であり、標準的な施工場所を想定したものですので、建物の種類や地域、現場の環境や状況により、該当しない場合があります。

クレイペイントは、下地の種類や状態に応じたクラックの対処が必要です。

クラックの主な原因と予防

内装のクラックの原因の多くは、下地の動きによるものです。

木造住宅の場合は下地木部自身の収縮、地震や立地(幹線道路付近など)が原因になります。発生しやすい部分としては、石膏ボード等の継ぎ目部分、入り隅部分などが挙げられます。

これらの部分については、施工時に下地処理が行われますが、建築工事の段階で十分に配慮することも大切です。ビス打ちの間隔、配分やボードそのものの状態などが仕上材の下地処理に影響することがあるからです。極力、ボード類は大判(3×8、3×9など)の真物を使用し、小さな面積の継ぎ接ぎなどを避けてください。また、これらの内容を建築業者や大工職と打ち合わせてください。

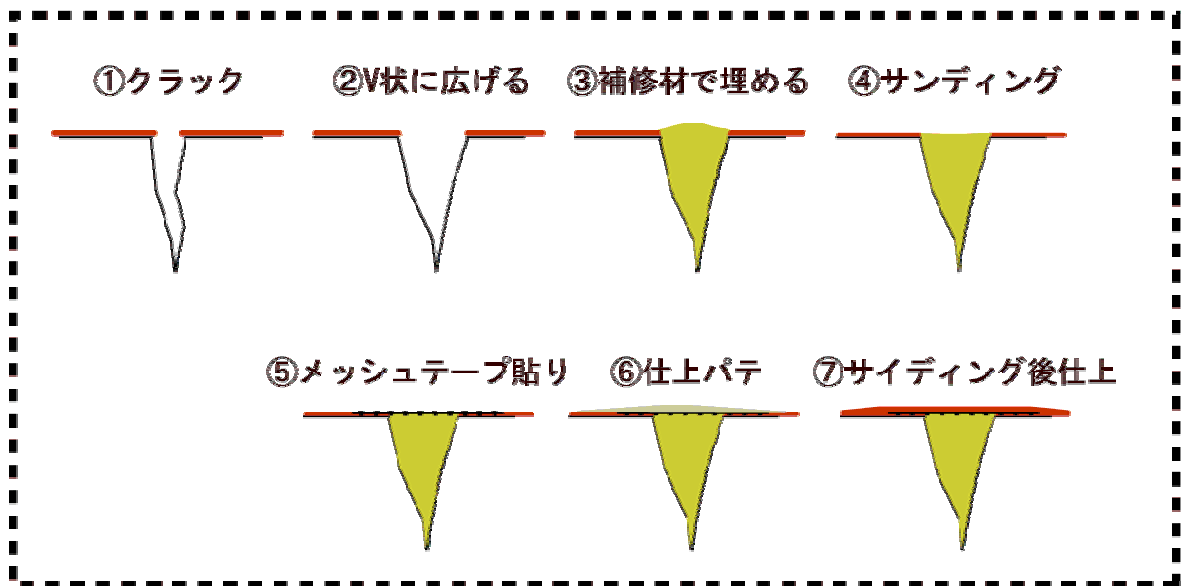
クラックが起きた場合の補修例

部分補修(軽微な補修、再発が予想されない場合)

クラック部分にヘラ等で丁寧にパテ材を埋め、サンドペーパーで平滑にし、同じ色のクレイペイントを細筆等で廻りに合わせる様に塗り、未使用のスポンジやローラー等で軽く押さえ仕上げます。

面補修(クラックが大きかったり、最初の施工から経過時間が長いなど広範囲の補修が必要な場合)

クラックが広範囲にわたる場合やクラックの深い場合は、クラック部分をカッターなどで広げ、パテ材でしっかりと埋め、場合によってはファイバーテープを使用して、再度下地処理からやり直す必要があります。また、最初の施工から時間が経っている場合は、新しく開封した材料との若干の色違いが考えられます。これらの場合、未補修部分との差を避けるため、対象面の見切ることのできる(出隅、入隅、見切り材の入っている部分などの)範囲で一面を塗り直すように仕上げます。



参考：入隅のクラック

- ・ 下地処理時、入隅にコーナービート、コーナーテープなど補強材を使用した場合、大きな入力があり壁面が動いた時には、コーナービート、コーナーテープの両側に剥離やクラックが入る可能性があります。この場合は、一度コーナービート、テープを剥がした上、再度、状況に応じた必要な下地処理を行い、接する両方の面を再塗装する必要があります。
- ・ 下地処理時に弾性充填材(ジョイントコークなど)を使用した場合は、経年変化(建物自体の動きなど)でクラックが入る事があります。その場合は、カッター等で充填材を剥がしてから再度充填し、この部分を筆などで塗装します。

下地のアクやシミ対策

クレイペイントは室内環境や人やペットの健康に負荷を与えない、無機の自然塗材ですので、汚れやアク、シミなどの出やすい下地については、それらに対応した処理を行う必要があります。

アクやシミの出ることが予想できる下地例

- ・タバコを吸う人の住んでいた部屋のクロスや塗り壁
- ・仏壇のある部屋のクロスや塗り壁
- ・手すりや棚などを取り付けのためのベニヤなどの合板
- ・施工指示の為にボールペンやサインペンで書き込まれた石膏ボード
- ・古いコンクリート面・・・etc

これらを下地とする場合は、アクやシミの発生が予想されるので、水拭き等清掃の上、専用のシーラー材などで、下処理する必要が有ります。

また、状況によっては、複数回の塗り重ねの必要な場合があります。

アクやシミの出る可能性のある下地に適用する材料

クレイ製品にはドイツ ecotec 社 Isolating Primer(アイソレーティングプライマー)をお勧めしますが以下の国内製品等でも対応可能です。

【A:塗装材料系】

a-1 日本ペイント株式会社

「水性シミ止めシーラーII」

・内装用 カチオン系エマルジョン白色シーラー

・ホルムアルデヒド放散等級 F

a-2 株式会社カンペハピオ

- 「水性カチオンシーラー」
- ・ホルムアルデヒド放散等級 F
- ・シリコン配合の反応硬化タイプ

a-3 株式会社アサヒペン

- 「水性ヤニ・アクどめシーラー」
- ・白色
- ・ホルムアルデヒド放散等級 F

a-4 和信化学工業株式会社

- 「アク止めシーラー」
- ・アク汚染をおこしやすい屋内木部用の下塗り材

a-5 メーカー株式会社

- 「MK シミ止め」
- ・カチオン系特殊樹脂
- ・ホルムアルデヒド放散等級 F

【B:左官材料系】

b-1 株式会社ハネダ化学

- 「ハイポリックシーラー」

b-2 富士川建材工業株式会社

- 「スーパーシミノン」

b-3 フジワラ化学株式会社

- 内装用アク止め材「アクドメール」
- ・塗布面がざら目に仕上がりに、上塗りが簡単です。

b-4 フジワラ化学株式会社

木部用アク止め材「木部用アクドメール」

・ホルムアルデヒド放散等級 F

b-5 四国化成

「ジュラックスシーラーNB」

・ホルムアルデヒド放散等級 F

臭いあり

【C:専用シーラー以外の製品】

(専用に作られている訳ではないが、その効果を期待できる製品例)

c-1 日本ペイント株式会社

「ニッペ水性ケンエース」

- ・艶消し塗料(水性反応硬化形エマルジョン塗料)
- ・ホルムアルデヒド放散等級 F
- ・アク止め / シミ止め効果の高い水性塗料として認知されている
- ・主に白色を使用

c-2 日本ペイント株式会社

「ニッペケンエース G-2」

- ・艶消し塗料(カチオン形アクリル樹脂塗料 / 弱溶剤系塗料)
- ・ホルムアルデヒド放散等級 F
- ・アク止め / シミ止め効果の高い塗料として水性ケンエースが登場するまで見かけることが多かった。(「ニッペ水性ケンエース」より効果大)
- ただし、溶剤系のため希釈や洗いにはシンナーを使用

c-3 丸長商事株式会社

「パワーテック」各種

- ・本来は、防水 / 耐水材だが皮膜を作るのでアクやシミ止め効果を期待
この上に通常のシーラーを